

世界で活躍する女性研究者による生物物理化学講演会

生命活動の不思議な営みは、それを構成する蛋白質分子のはたらきによって成り立ちます。最近の生命科学の進展により、光合成や酵素など生命に不可欠な蛋白質のしくみが分子や原子のレベルで理解されるようになってきました。本講演会では、世界を舞台に活躍される2名の女性研究者をお招きし、生物物理化学に関する最先端の成果を披露していただきます。

日時：平成20年5月23日（金）

場所：講堂会議室

【プログラム】

13:30～15:00

講演者：矢野 淳子 博士（米国ローレンスバークレー国立研究所 生物物理科学部門）

演題：「光合成酸素発生錯体の構造と機能：X線吸収法の応用」

講演者略歴：島根県出身、広島大学生物卒、大阪大学論文博士（理学博士）。広島大学生物生産・助手、イスラエル・ヘブリュー大学ゴルダメアール研究員を経て2001年より現所属、博士研究員、Scientist。

最近の論文は、J. Yano et al. *PNAS* (2005); J. Yano et al. *Science* (2006); J. Yano et al. *JACS* (2007) など

15:30～17:00

講演者：岩城 雅代 博士（豊田中央研究所 材料分野）

演題：「全反射FTIRで見る酵素反応：生理条件下で測るから酵素がイキイキ」

講演者略歴：京都府出身、奈良女子大学化学卒、東邦大学論文博士（理学博士）。岡崎機構基礎生物学研究所・技官、2000年フランスサクレ研究所、2002年英国ロンドン大学博士研究員を経て2007年より現所属。

最近の論文は、M. Iwaki and P. R. Rich, *JACS* (2004); *JACS* (2006); *JACS* (2007) など

講演者はいずれも世界をリードする研究を展開されていますが、専門外の方にも理解できるよう努力していただく予定です。さらに本講演会は学長裁量経費の補助を受けており、男女共同参画の観点から「女性研究者をエンカレッジするような内容を講演の中に盛り込むこと」をお願いしています。

生命科学、生物物理化学に興味のある学生さんだけでなく、男女共同参画に関心のあるすべての方の参加をお待ちしています。

連絡先：未来材料創成工学専攻、生命・物質工学教育類 神取秀樹

内線5207

Email kandori@nitech.ac.jp